

塩竈市観光振興ビジョン かわら版 vol. 7

まち歩きガイド育成研修会に20名が参加！

塩竈の観光まちづくりの道筋をあらわす「観光振興ビジョン」では、基本施策のひとつに人材育成と体制づくりを位置づけています。市民ひとりひとりがまちの魅力を知り、発信することをめざしてまち歩きガイド育成研修会が開催され、20名が参加しました。

弘前・路地裏探偵団の事例に学ぶ

弘前市の魅力を紹介するまち歩きガイド集団「弘前路地裏探偵団」から鹿田団長がお越しになり、活動を紹介してくださいました。彼らの活動のコンセプトは、定番の観光地以外の場所に観光客を誘い込むこと、夕方から夜の時間を活かすこと、楽しみながらガイド活動することなどです。コンセプトを明確化することで個性が印象付けられ、イメージが定着するとともに、観光客やまちの方々に受け入れられ、地域・市民の誇り（シビックプライド）の醸成につながっています。今では、路地裏探偵団のポスターの撮影地を求めて、観光客が路地裏に集まるほどになり、地域の魅力再発見につながっているそうです。



「路地裏探偵団」の活動紹介

「暮らしぶり」が観光資源に

テレビ番組の傾向などからも、ローカルの魅力がクローズアップされる時代、その町の「暮らしぶり」そのものが観光資源になるというお話は大変興味深いものでした。あたりまえだと思っていることが実は地域の個性であり、魅力を持っているのです。日常の中にある「意味」「理由」「価値」を見出すことから地域の魅力が相乗効果を発揮します。



熱い講義を行う西谷氏

ガイド活動に大切なこと

①簡潔に、しかしストーリーは大切に

長い話は、まち歩きをしながら立って聞く状況の中では集中力を欠いてしまいます。また、観光客は研究者ではないので、ガイドが知っていることをすべて話してもなかなか頭には入りきりません。要点を絞りながらも、重要なポイントは逃さず、ストーリーを伝えることが肝心です。

②「伝える」ではなく「伝わる」こと

歴史や文化にしても、客観的事実を話すだけでは一方的に「伝える」だけになってしまいます。そこで、自己の体験談や、一般的に知られている事例など、身近なことに例えるなど「へえ～」と思わせる情報を盛り込むと話が分かりやすくなります。つまり、共感を得ることで「伝える」から「伝わる」に変わります。また、マニュアル通りのフレーズにこだわらず自分の言葉で語ることで、他者への想像力を豊かにし、機械にはない、人間らしさを発揮することが大切です。

③そして何よりも、お客様の安全！

ガイドのノウハウも大事ですが、一番大切なことは安全管理です。交通ルールやマナーを守って安全にまち歩きができる配慮がガイドには求められます。

コースづくりを実践、ガイドを実践！

より充実した満足度の高いまち歩きのためには、目的意識、つまりテーマ設定が肝心です。実習では各自がテーマとまち歩きコースを考え、ターゲット選定や内容検討を行い、「歴史」「食」「路地」の3つのテーマを設定しました。テーマに沿ったストーリーを組み立て、消費との接点も持ちながら、1コースにつき90分を目安に…など、参加者のみなさんは熱心にコースづくりを行っていました。

実習当日は好天に恵まれ、参加者それぞれが役割を發揮し、「塩竈愛」あふれる熱のこもったガイドを実践していました。研修後に西谷氏からフィードバックを受け、さらなるガイド技術の向上につなげていました。

《ガイド実習の様子》



グループでコースづくり



「歴史」コース

「食」コース

「路地」コース

『あなた自身が「まち」である』ということ

今回の研修に参加されたみなさんはそれぞれに、塩竈への熱い思いを持っていて、ガイド活動そのものを楽しんでいるように見えました。研修で印象に残った言葉は、「あなた自身が「まち」である」ということ。まち歩きガイドは塩竈の魅力をいかに伝え楽しんでいただくか、という重要な役目を持っています。そのためには「熱」を伝えること。シビックプライドをもったみなさんが、ガイドとして「熱」を伝えれば、観光客のみなさんも塩竈を楽しみ、好きになってくれることでしょう。

もう一つ、大切なのは、地域での消費との接点を持つこと。名所めぐりだけでなく、地域のおいしいものを食べてもらう、オススメのものを買ってもらうことも、観光が持続可能な産業として地域を振興させるためには肝心です。市民一人ひとりが塩竈の魅力を知り、好きになることから始まります。

研修プログラム

- 第1回：1/10 「これからの時代のまちあるきガイドとは？～全国のまちあるき事例～」
ゲスト講師：弘前路地裏探偵団 団長 鹿田智嵩氏
- 第2回：1/17 「まちあるきコースの造成（地域資源の磨き上げ）」
- 第3回：1/24 「まちあるきコースの造成（地域資源の磨き上げ）・ガイド手法」
- 第4回：2/8 「まちあるきガイドの実践」
「全体振り返り・まちあるき事務局の組織運営・リスクマネジメント」

発行：塩竈市観光交流課
人・まち交流係
TEL022-364-1165